

園田学園大学

近松講座 (全四回)

江戸の怪談を愉しむ

受講料 4,400 円

① 7月20日(月) 13:00~15:20

「歌舞伎の幽霊」小史—「牡丹燈籠」を中心に—

講師: 大江篤 (園田学園大学近松研究所所長、教授)

特別公演:



日本怪談研究と朗読公演の一座

百物語の館

② 7月27日(月)

13:00~14:30

化ける猫 踊る猫

講師: 坂本美加 (園田学園大学近松研究所研究員)

③ 8月3日(月) 13:00~14:30

「お菊の幽霊」ものがたり

講師: 久留島元 (大谷大学助教)

④ 8月10日(月) 13:00~14:30

四代目鶴屋南北『東海道四谷怪談』と〈からくり芸能〉

—提灯抜けの幽霊演出はどこから来たのか?—

講師: 鈴木堅弘

(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター特別研究員)



園田学園大学近松研究所主催

近松講座「江戸の怪談を愉しむ」

暑い夏、歌舞伎では、背筋の凍るような怪談物を上演し、奇抜な演出で外の暑さを忘れる「涼み芝居」が、江戸時代からの風物詩となっている。折口信夫は「涼み芝居と怪談」（「新橋演舞場」1949年）で「涼み芝居」から盆芝居へと、接続する為に、夏芝居が自ら盆狂言の傾向を持つて来ることになる」と指摘する。この時期の芝居は、単に暑さを忘れるだけではなく、盆に徘徊する「浮ばれぬ無縁亡霊」を慰めるためのものであり、「盆初秋には怨霊退散の狂言が、早くから用意せられてゐた」というのである。この講座では、江戸時代の怪談を取り上げ、その多彩な世界を紹介したい。



日本怪談研究と朗読公演の一座

百物語の館

『新形三十六怪撰』

「百物語の館」は、日本全国の古典を中心に、伝説・伝承・怪談文芸などを研究し、現代語訳にした朗読を語る活動をしている団体です。

受講料：4,400円 講座当日受付にてお支払いください。

会場：園田学園大学 開学30周年記念館（5号館）3階 大会議室
尼崎市南塚口町7丁目29-1

シ-エイアケ-エ-1124 イスワイム

申込方法：chika1124sym@sonoda-u.ac.jp 宛に ①氏名 ②電話番号 を
お送りください。

申込締切：2026年7月19日（日）16:00

※定員に達した時点で申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

問合先：園田学園大学 近松研究所

月・水 10:00~16:00 TEL:06-6429-9928

『さらやしき』『お岩さん』（葛飾北斎『百物語』）、『はたむとうろう』（月岡芳年「新形三十六怪撰」）より